

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課				
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	04	都市計画費	02	駅周辺整備事業費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業						
中事業	09	主要な取り組み	K P I	-			目標値	-	
小事業	26	駅前広場管理事務	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	不特定多数の利用者が在ることから、日常継続的な維持管理が必要である。また、美濃加茂市の玄関口であることから、常に快適で安全な駅周辺施設の維持が求められている。				
	事業目的	(1)対象 駅周辺施設利用者 (2)目的 清掃等の日常管理や機器の保守点検等を委託することで、快適で安全な駅周辺施設の維持				
	事業概要	美濃太田駅駐輪場（北口・南口）、美濃太田駅前広場（北口・南口）、古井駅駐輪場等の駅周辺施設を、利用者が安全で快適に利用できるように清掃・施設保守点検等による適正な管理を行う				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	9,129 8,489	10,829 9,768	9,873 9,540	13,259 12,662	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	835 / 90					

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	駐輪場放置自転車の処理回数	目標値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	2	2	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	駅前広場への苦情件数 10件以下	目標値	10	10	10	10	
		実績値	10	10	10	10	

実 績	実績	施設保守、清掃、修繕、パーキング改修等、年間を通しての施設維持管理業務を実施。噴水の水質改善を実施。
	効果	快適で安全な駅前広場の利用促進。（利用環境の向上）

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	市内の高校へ放置自転車減少の為のアナウンスを行っていただき、放置自転車が減少した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	快適な環境維持により苦情件数が少なかった。老朽化による設備等の故障によるものが大半であり、今後も継続して改修を実施する。
	実績からR06年度の事業の方向性	駅周辺事業として南北自由通路管理事務と総合し、柔軟性の高い管理を進める。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	03300000	建設水道部 土木課			
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	04	都市計画費	04	公園費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-		目標値	-	
中事業	09	主要な取り組み							
小事業	27	ちびっこ広場管理事務	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	地域の憩いの場であるちびっこ広場は地元自治会等の管理であることや、老朽化が進行する等から、適切な管理が困難な広場（遊具）が発生している。				
	事業目的	(1)対象 ちびっこ広場の利用者 (2)目的 遊具の保守点検や修繕工事を行うことで、快適で安全なちびっこ広場の維持				
	事業概要	ちびっこ広場の利用者が快適に利用できるように維持管理する ちびっこ広場：36箇所				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	3,000 2,233	2,200 1,669	3,200 2,958	4,560 4,560	4,600
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	913 / 180					

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	広場施設の点検回数	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	3	3	3	3	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	利用者からの要望に対する対応数	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	3	2	5	4	

実 績	実績	専門業者および市職員による遊具の保守点検を実施。 要望案件対応数 4件
	効果	危険な遊具の使用禁止措置や修繕等により、広場の利用環境が向上した。 専門業者による点検結果を広場管理者である自治会にお知らせすることにより、適切な注意喚起と通常管理が促された

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	専門業者による点検や市職員による点検を実施したことで目標値を達成した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	点検結果を地域に報告し、地元自治会からの要望により遊具等の修繕や取替を実施したことで目標値を達成した。
	実績からR06年度の事業の方向性	広場利用者の安全確保のため、引き続き定期的な点検等を行い、安心・安全に利用できるようにする。